

定期作況報告

(第6号 平成18年10月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

9月下旬：最高気温は平年より0.2 高かった。最低気温は平年より0.2 低かった。降水量は平年より21.6mm少なく、平年対比47%であった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より19.0時間多く、平年対比139%であった。

10月上旬：最高気温および最低気温は平年より各々2.3、2.6 高かった。降水量は平年より8.1mm少なく、平年対比81%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より10.6時間多く、平年対比127%であった。

10月中旬：最高気温および最低気温はいずれも平年より0.8 低かった。降水量は平年より41.3mm多く、平年対比239%であった。降水日数は平年より2日多かった。日照時間は平年より4.4時間少なく、平年対比90%であった。

9月下旬から10月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.3	19.1	0.2	18.7	16.4	2.3	13.8	14.6	0.8	17.3	16.7	0.6
最低気温()	7.9	8.1	0.2	8.7	6.1	2.6	3.0	3.8	0.8	6.5	6.0	0.5
平均気温()	13.1	13.2	0.1	12.9	10.9	2.0	8.6	9.0	0.4	11.5	11.0	0.5
降水量(mm)	19.0	40.6	21.6	35.5	43.6	8.1	71.0	29.7	41.3	125.5	113.9	11.6
降水日数(日)	3	5	2	4	5	1	7	5	2	14	15	1
日照時間(h)	67.2	48.2	19.0	50.3	39.7	10.6	38.5	42.9	4.4	156.0	130.8	25.2

注1) 比布アメダス観測値により上川農試で算出。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。上川農試で算出。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : 良

事 由 :

[籾数]: m^2 当たり穂数は m^2 当たり穂数は平年対比で81~87%と少なかった。一穂籾数は平年より1割程度多かった。その結果、 m^2 当たり籾数は中苗「きらら397」が平年よりやや少なく、中苗「ほしのゆめ」および成苗「きらら397」はそれぞれ平年対比88、92%と少なかった。

[稔実歩合・稔実籾数]: 稔実歩合は平年より高かった。 m^2 当たり稔実籾数(m^2 当たり籾数×稔実歩合)は中苗「きらら397」が平年対比で102%とやや多く、中苗「ほしのゆめ」および成苗「きらら397」は95%前後でやや少なかった。

[登熟歩合・ m^2 当たり登熟籾数]: 登熟歩合は中苗、成苗ともに平年をかなり上回った。 m^2 当たり登熟籾数(m^2 当たり籾数×登熟歩合)は中苗「きらら397」は平年を上回り、中苗「ほしのゆめ」は平年並、成苗「きらら397」は平年を下回った。

[精玄米千粒重]: 平年より1.5g程度重かった。

[精玄米重]: 粒厚1.90mm以上の収量は中苗「きらら397」が平年対比111%、中苗「ほしのゆめ」が同109%、成苗「きらら397」が同108%であった。

以上、いずれの品種・苗も収量が平年を上回り、品種・苗をこみにした収量の平年対比は109%であった。このため、本年の作況は良である。

表2 収量構成要素・決定要素および収量

品 種 苗	m^2 当り穂数 (本)				一穂籾数 (粒)				m^2 当り籾数(×1000粒)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	618	712	94	87	49.8	44.6	5.2	112	30.8	31.8	1.0	97
ほしのゆめ 中苗	636	779	143	82	46.4	40.9	5.5	113	29.5	31.9	2.4	92
きらら397 成苗	594	733	139	81	48.0	44.2	3.8	109	28.5	32.4	3.9	88

品 種 苗	稔実歩合 (%)				m^2 当稔実籾数(×1000粒)				登熟歩合 (%)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	96.8	92.0	4.8	105	29.8	29.2	0.6	102	86.6	79.9	6.7	108
ほしのゆめ 中苗	94.8	91.2	3.6	104	28.0	29.1	1.1	96	89.1	82.0	7.1	109
きらら397 成苗	96.6	90.7	5.9	107	27.5	29.4	1.9	94	87.6	80.8	6.8	108

品 種 苗	m^2 当登熟籾数(×1000粒)				精玄米千粒重 (g)				精玄米重(kg/10a)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	26.7	25.4	1.3	105	24.0	22.4	1.6	107	636	575	61	111
ほしのゆめ 中苗	26.3	26.2	0.1	100	23.3	21.9	1.4	106	597	548	49	109
きらら397 成苗	25.0	26.2	1.2	95	23.9	22.6	1.3	106	619	575	44	108

注1) 平年値は平成11~17年7カ年のうち平成13年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて「減」を示す。

3) 稔実歩合: 触手で求めた。

4) 登熟歩合: 比重1.06の塩水選で求めた。

5) 千粒重・精玄米重: 粒厚1.90mm以上。水分15.0%に換算。

2) 秋まき小麦 : やや不良

事由: 播種期は平年より5日遅い9月11日であった。出芽率は約80%とやや低く、出芽の斉一性もやや劣った。現在のところ、草丈は平年並みであるが、葉数、茎数とも平年より少ない。したがって、目下の作況はやや不良である。

表3 10月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	播種期(月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/m ²)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホクシン	9.11	9.6	5	30.7	31.0	0.3	1383	1744	361

品 種 名	葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較
ホクシン	5.4	6.0	0.6

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年を除く5か年の平均値(収穫年度)。
2) は平年より減を示す。

3) 大 豆 : 良

事由: 成熟期は「トヨムスメ」、「トヨコマチ」共に1日遅かった。主茎長、主茎節数は両品種とも平年並、分枝数は平年よりやや少なかった。着莢数が平年を上回り、百粒重も平年より重かったため、子実重は「トヨムスメ」で平年比118%、「トヨコマチ」で同120%の多収となった。屑豆率は平年よりも低かった。

したがって、目下の作況は 良 である。

表4 成熟期の大豆の生育および収量

品 種 名	成 熟 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	10.1	9.30	1	64	62	2	10.3	10.2	0.1
トヨコマチ	9.23	9.22	1	66	64	2	11.0	10.9	0.1
ユキホマレ	9.22	9.20	2	58	62	4	9.8	9.8	0

品 種 名	分 枝 数 (本/株)			着 莢 数 (個/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	6.5	7.1	0.6	91	77	14
トヨコマチ	5.6	6.8	1.2	87	77	10
ユキホマレ	4.5	6.1	1.6	86	78	8

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			
	本 年	平 年	比 較	対平年比(%)
トヨムスメ	515	437	78	118
トヨコマチ	505	422	83	120
ユキホマレ	490	424	66	116

品 種 名	百 粒 重 (g)			屑 豆 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	38.4	37.6	0.8	0.8	1.8	1.0
トヨコマチ	36.0	35.5	0.5	1.1	1.7	0.6
ユキホマレ	36.7	37.6	0.9	0.8	2.6	1.8

注 1) 平年値は前 7 か年中、平成 14 年、17 年を除く 5 か年の平均値。ただし、「ユキホマレ」については平成 13 年から 17 年の 5 か年の平均値で、参考値である。

2) は平年より減を示す。

4) 小 豆 : 不良

事 由 : 子実重は平年より低く、平年対比で「サホロショウズ」が 95%、「エリモショウズ」は 92%であった。百粒重は平年より軽く、降雨による腐敗粒、莢発芽の発生により屑豆率も平年より多かった。

したがって、目下の作況は不良である。

表 5 小豆の収量

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			
	本 年	平 年	比 較	対平年比 (%)
サホロショウズ	358	378	20	95
エリモショウズ	348	380	32	92

品 種 名	百 粒 重 (g)			屑 豆 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	12.6	13.6	1.0	4.6	2.1	2.5
エリモショウズ	11.8	12.7	0.9	2.1	1.4	0.7

注 1) 平年値は、前 8 か年中、平成 15 年 (最豊)、平成 16 年 (最凶)、平成 12 年 (茎疫病発生) を除く 5 か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

